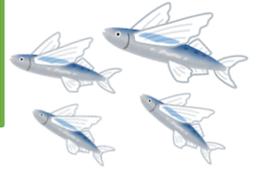




感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第28週 (7/7 ~ 7/13)

三宅島 感染症の報告はありません

御蔵島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19): 2件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患 < 東京都感染症週報 第27週 >

・水痘の定点当たり報告数は、0.67で先週(0.95)より減少しましたが、引き続き今後の動向に注意が必要です。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) < 第28週 (7/7~7/13) >

- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.18で前週(0.18)から横ばいです。
- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、4.27で前週(2.91)より増加しています。

NEWS 7月28日は世界肝炎デー(世界保健機関:WHO)

世界保健機関(WHO)は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者への差別・偏見の解消、感染予防の推進を図るため、7月28日を世界肝炎デーとし、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でも、世界肝炎デーに合わせて2012年度から同日を「日本肝炎デー」、7月28日から8月3日までの1週間を「肝臓週間」とし、国や地方自治体、医療団体などが協力して、肝炎の正しい知識や検査の重要性を広める活動を行っています。

7月28日は「日本肝炎デー」肝炎ウイルス検診を!

東京都保健医療局



「知って、肝炎プロジェクト」

厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動事業



ウイルス性肝炎とは

ウイルスの種類によって、B型肝炎、C型肝炎等と呼ばれます。東京都内には、B型及びC型肝炎ウイルスに感染している人が20万人から30万人いると推計されています。しかし、感染していても自覚症状がないことも多いため、検査を受けずに感染がわからないままの人が多く存在します。

B型及びC型肝炎ウイルスは主に血液によって感染します。ウイルスを発見する検査法が確立する以前には、ウイルスが含まれている血液の輸血や血液製剤の使用、注射器や注射針をウイルスに感染している人と共有した場合などで感染したことがわかっています。予防対策が確立される前は、母子感染がありました。現在では、B型肝炎の感染経路として最も注意すべきは、B型肝炎ウイルスに感染している人との性交渉による感染です。

肝炎は、全身倦怠感、食欲不振、吐き気、嘔吐などの症状が現れ、引き続き黄疸が出現します。しかし、自覚症状がないまま肝がんへと進行している場合があるのでご注意ください。(参考:ウイルス性肝炎とは 東京都保健医療局)



(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所

電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 28 週

令和7年

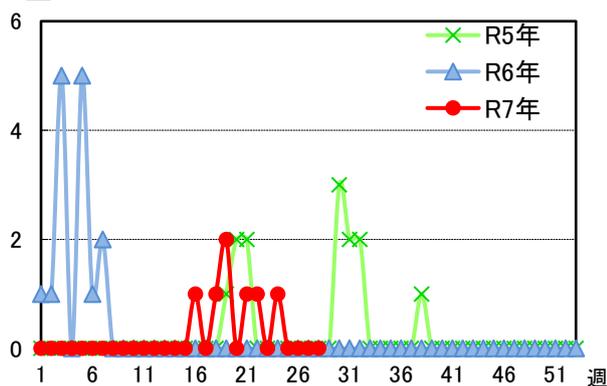
7/7 ~ 7/13

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 27 週
	23 週	24 週	25 週	26 週	27 週	28 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.21
咽頭結膜熱							0 (0)	0.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	2.82
感染性胃腸炎		1 (0)					7 (2)	6.02
水 痘							0 (0)	0.67
手足口病							0 (0)	0.50
伝染性紅斑							0 (0)	0.62
突発性発しん							0 (0)	0.36
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.79
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.07
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.09
インフルエンザ							58 (3)	0.25
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		3 (0)	4 (0)	1 (0)	10 (5)	2 (2)	42 (12)	1.65

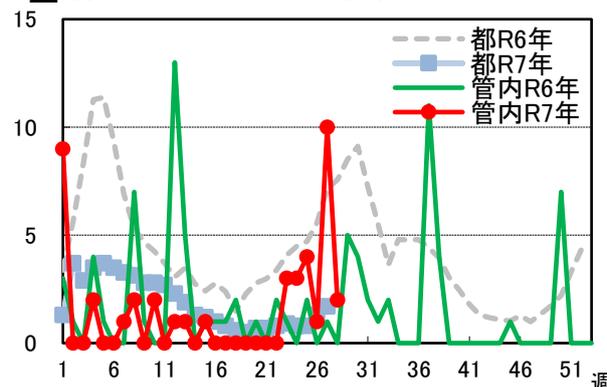
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ 管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症状況は、新型コロナウイルス感染症の発生が5週連続で続いています。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。